秀吉の大返しめし縁起

天正十年六月二日
織田信長、京都本能寺で討れる。
ときに四十九歳。
三日夜半、備中高松城水攻めの陣中におりて
秀吉、変事の報を知る。

こりゃえらいこっちゃと四日、

清水宗治を切腹させ、毛利と和議。
翌五日、蛙ヶ鼻の堤を切って
毛利軍の追撃を牽制しながら全軍撤退。
一万数千の軍勢は、夜を日に継いでの行軍を続け
六日、七日午後あたりから続々と姫路城に帰り着いた。
先に帰城した秀吉はこれを迎えて
兵の労をねぎらった。

居城において一息入れ補給を調えて
九日朝に姫路城を発進。
そして十三日、山城国大山崎の天王山の合戦に
おいて明智光秀を破り、天下制覇を固めた。
これが世に言う「羽柴秀吉の中国大返し」。

播磨の近世は羽柴筑前守秀吉によって
拓かれました。中国攻めの枢点として
三層の天守をもつ姫路城を築き
そこに在って天下取りの手綱をとったのです。
四百年余の昔、生涯の快挙において
秀吉懸命の振舞いに思いを馳せながら
めでたい歴史に因んだもてなしを
工夫したいと願った次第です。

平成六年八月吉日

麦めしとろろ

にそえて

四季折々の
地どれ・前どれの
海の幸・山の幸を
とり合わせ
おかずの味につくって
おります。

播州姫路の「酒蔵の膳」
どうぞ、ごゆっくり
おなおし上がりください。

「山田錦」のふるさと播州・姫路の酒
灘菊酒造株式会社
兵庫県姫路市手柄一丁目一二一番地
電話〇七九二(八五)一七三七
FAX〇七九二(八四)〇〇五九